

## 保育計画成果報告書

法人名等	社会福祉法人熱心会
施設名	南浦和おおぞら保育園
報告者（役職）	芳賀 優香（園長）
住所・連絡先	さいたま市南区南浦和 2-10-11
	☎ 048-885-3300 E-mail info@minamiurawaoozora.marehoikuen.com

### ○タイトル（保育計画）

ひとりひとりの「やってみたい」に寄り添う～主体的保育環境づくり～

### ○主な助成備品

木製おままごとセット

## 1. 保育計画策定の目的

南浦和おおぞら保育園では、小さめではありますが、砂場がある園庭や園舎の2階にはテラスがあり、外気に触れながら、戸外遊びを楽しんでいます。子どもたちも園生活に慣れ、日々楽しく過ごすことができているのですが、これから心身ともに大きく成長していく子どもたちのために、他児とごっこ遊びができる楽しさ、ごっこ遊びで想像力を育むために今回の保育計画を策定しました。

## 2. 具体的な実施内容

【木の玩具を使用することにより得られる効果】

- ①古来からの木の文化への理解が深まる
- ②五感を刺激し集中力を育んでくれる
- ③子どもの想像力を刺激する

乳幼児期に木の温かみや、滑らかな手触り、香り、木目の模様などを通して、五感が育まれるよう、取り入れています。

0・1歳児ははいはい、つかまり立ちと、よちよち歩きができるようになり、自分で動けることへの喜びと探求心で満ち溢れているため「やわらかはいはいマット」の上で遊ぶことにより転倒し怪我に繋がることも防げます。

2・3歳児は他児とのコミュニケーションが言葉でできるようになるため「ままごとキッチンシリーズ」や「木製ままごと新くだものセット」、「木製ままごと新お野菜セット」を使用し、ごっこ遊びに展開し遊びの幅を広げています。

4・5歳児は、基本的な体の動きが定着し、さらに発展的な遊びができるようになってきているため、おままごと以外にも「アイコニー26面ストレージゲーム」、「アイコニージャンボなみのりバブル」で普通の積み木とは異なる角度での積み上げ方に挑戦することやルールのある遊びをし、できる・できないに個人差があることを念頭に入れて、「やってみよう」とする気持ち、あきらめずに繰り返し挑戦する姿勢を褒め、自己肯定感を高めていきます。

(やわらかいははいマット/0歳児)



(ままごとキッチンシリーズ/2歳児)



(木製積み木/2歳児)



(木製ままごと/3歳児)



### 3. その成果と評価

園生活の遊びの中で、「ままごとキッチンシリーズ」、「木製ままごと」を使用することにより、子ども同士のやり取りが増え、ごっこ遊びの幅を広げることができています。

#### 4. 今後の課題と展望

今後異年齢保育でも取り入れていき、交流の機会を増やしていきます。環境設定によって、子どもたちの活動の幅を広げていくことが可能であるため、年齢ごとの発達段階の知識をしっかりと身に付けていくことも必要です。今後職員への研修を通して正しい保育知識の習得を心がけていきたいと思っています。

以上